



平成30年度事業報告書
平成30年8月8日から平成31年4月30日まで

特定非営利活動法人顔晴れる

1 事業の成果

平成30年度は、組織基盤の確立に注力しつつ、広く一般市民に対して、災害等の被災地における復興や高齢者の支援に関する事業として、全国の老人ホームを慰問し、復興や高齢者の支援に寄与して参りました。

また、災害等の被災地における復興や高齢者の支援を行う個人及び団体との交流、連携及び協力に関する事業として、被災者と連絡を取り、直接話して、現状を全国で風化されないよう、事業を行って参りました。

令和1年度は、各事業を継続的、発展的に実施することによって、より一層、復興や高齢者の支援を目指して参ります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
災害等の被災地における復興や高齢者の支援のための企画及び運営に関する事業	全国の老人ホームの慰問	通年	全国の 老人ホーム	2名	被災地で暮らす一般市民、 高齢者 不特定多数	214
災害等の被災地における復興や高齢者の支援を行う個人及び団体との交流、連携及び協力に関する事業	被災者との交流会・シンポジウムの開催	通年	全国	2名	被災地で暮らす一般市民、 高齢者 不特定多数	18

平成30年 活動計算書

平成30年8月8日から平成31年4月30日まで

特定非営利活動法人顔晴れる

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	0		
賛助会員受取会費	36,000	36,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0	0	
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0	0	
4 事業収益			
災害等の被災地における復興や高齢者の支援の ための企画及び運営に関する事業収益	150,000		
災害等の被災地における復興や高齢者の支援を 行う個人及び団体との交流、連携及び協力に 関する事業収益	13,000	163,000	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収入	0	0	
経常収益計			199,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	35,000		
法定福利費	4,604		
人件費計	39,604		
(2) その他経費			
旅費交通費	128,106		
通信運搬費	13,593		
接待交際費	28,211		
消耗品費	8,741		
広告宣伝費	12,160		
雑費	1,988		
その他経費計	192,799		
事業費計		232,403	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
役員報酬	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費	0		
通信運搬費	0		
接待交際費	0		
消耗品費	2,185		
備品費	3,938		
雑費	496		
その他経費計	6,619		
管理費計		6,619	
経常費用計			239,022
当期経常増減額			(40,022)
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			-40,022
設立時正味財産額			0
次期繰越正味財産額			-40,022

計算書類の注記(平成 30年度)

特定非営利活動法人顔晴れる

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(4)消費税等の会計処理

税込み方式

平成30年度会計貸借対照表
平成31年4月30日現在

特定非営利活動法人顔晴れる

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	0		
普通預金	428		
流動資産合計		428	
資産合計			428
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
役員借入金	40,450		
固定負債合計		40,450	
負債合計			40,450
III 正味財産の部			
当期正味財産増加額(減少額)		-40,022	
正味財産合計			-40,022
負債及び正味財産合計			428

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別表として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

平成30年度財産目録
平成31年4月30日現在

特定非営利活動法人顔晴れる

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	0		
普通預金	428		
流動資産合計		428	
資産合計			428
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
役員借入金	40,450		
固定負債合計		40,450	
負債合計			40,450
正味財産			-40,022

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、財産目録の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。